

データあり
令和6年5月9日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 白木・永田
電話 782-2111

ツシマヤマネコの赤ちゃんが3頭生まれました

東山動植物園で飼育しているツシマヤマネコのメス(レイラ No.89)が2024年5月9日に3頭の赤ちゃんを出産しましたのでお知らせします。

ツシマヤマネコの飼育下繁殖については、環境省と(公社)日本動物園水族館協会が「生物多様性保全の推進に関する基本協定」に基づいて取り組んでいます。

記

1 出産の経緯

- ・5月8日夕方ごろから、レイラ (No.89) は落ち着きが無くなり、出産の兆候が見られる。
- ・5月8日午後10時頃から、強い陣痛を断続的に確認する。
- ・5月9日午前3時40分に1頭目の出産を確認する。
- ・5月9日午前4時42分に2頭目の出産を確認する。
- ・5月9日午前5時3分に3頭目の出産を確認する。
- ・5月9日午前5時46分に授乳を確認する。

2 両親

個体No.	愛称	性別	年齢	来園日
No. 89	レイラ	メス	5歳 (2019年4月15日 福岡市動物園生まれ)	2019年11月13日
No. 105	ベニー スモ	オス	不明 (野生由来)	2023年12月11日

3 出産に至った状況

- (1) 交尾 2024年3月4日
- (2) 妊娠確認 2024年4月25日 岐阜大学動物繁殖学研究室のホルモン測定により妊娠の疑い
2024年4月30日 X線検査の結果、妊娠が確定
- (3) 出産 2024年5月9日 (最終交尾から66日目)

4 誕生した仔について

- ・赤ちゃん3頭の性別は不明です。
- ・公開については現段階では検討していません。

【参 考】

■東山動植物園のツシマヤマネコ飼育頭数（今回の繁殖個体を除く）

4頭（オス2頭、メス2頭）

■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

10施設31頭（オス15頭、メス16頭） ※2024年4月1日現在
（今回の繁殖個体を除く）

■ツシマヤマネコについて

長崎県の対馬だけに分布する野生のネコであり、ベンガルヤマネコの亜種とされています。野生での生息数は推定90または100頭程度と絶滅が心配されており、国の天然記念物で、平成6年3月に国内希少野生動植物種に指定されました。体長約50～60cm、体重約3～5kgの大きさで、体全体の斑点模様、額の縞、太く長い尾や耳裏の白斑（虎耳状斑）が特徴です。主に森林に生息していますが、田や畑で主にネズミ類を捕食します。絶滅危惧IA類（環境省レッドリスト2020）。

【写 真】※写真データが必要な場合はご連絡ください。

■ 母親と生まれた赤ちゃん（5月9日撮影）



■ 赤ちゃんの両親



母親：No.89 レイラ



父親：No.105 ベニー スモ